

製品名: CAV2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81343**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 18.3kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CAV2 |
| 別名 | CAV |
| 遺伝子 ID | 858.0 |
| SwissProt ID | P51636 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト CAV2 (AA: 1-86) の精製された組み換え断片。 |

背景

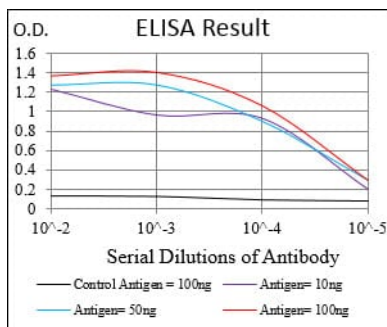
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞膜の小さな陥入部であるカベオラの内面の主要成分であり、シグナル伝達、脂質代謝、細胞増殖制御、アポトーシスといった重要な細胞機能に関与している。このタンパク質は腫瘍抑制因子として機能する可能

性がある。この遺伝子と関連ファミリーメンバー (CAV1) は7番染色体上に隣接して位置し、共局在するタンパク質を発現して安定したヘテロオリゴマー複合体を形成する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。また、代替的なインフレーム翻訳開始コドンの使用によって生じる追加のアイソフォームも報告されており、細胞内で優先的に局在することが示されている (PMID:11238462)。

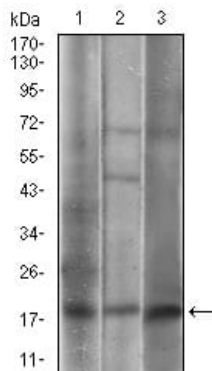
研究分野

-

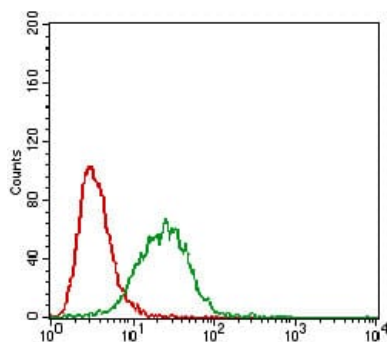
画像データ



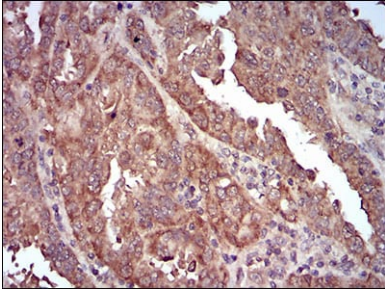
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



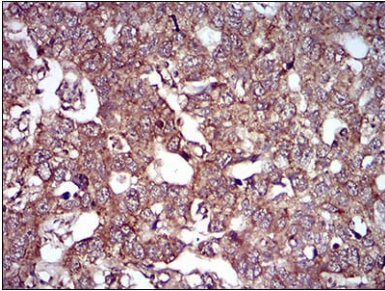
A549 (1)、3T3-L1 (2)、A431 (3) 細胞溶解物に対する CAV2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



CAV2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



CAV2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。



CAV2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。